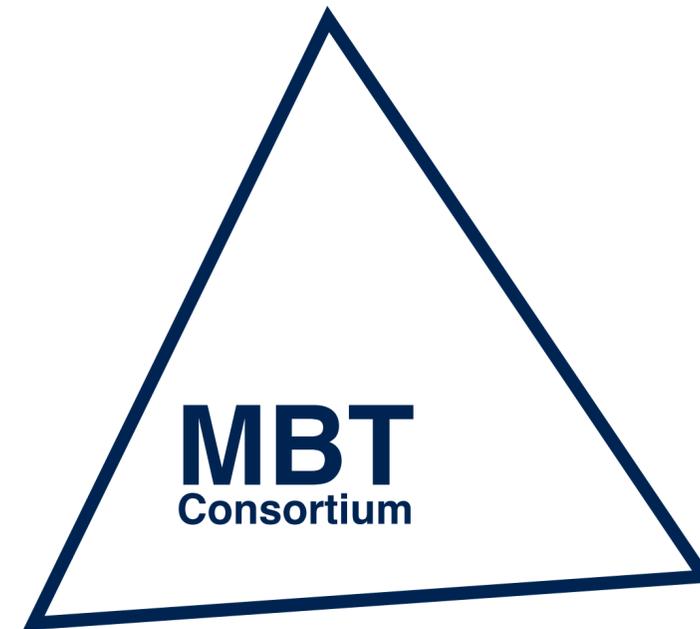


MBT, Medicine-Based Town

医学を基礎とするまちづくり

2020年11月27日



奈良県立医科大学MBT研究所
遊佐敏彦

はじめに

■MBTとは

医学を基礎とするまちづくり（いがくをきそとするまちづくり）とは、医学的知見をまちづくりに積極的に応用することにより、まちづくり自体を大きく変革しようとする概念をいう。「Medicine-Based Town」の頭文字を取ってMBTと呼ばれている。

超高齢・縮退社会を迎えたわが国の都市において喫緊の課題となっている、地域の医療・福祉・健康を基軸としたまちづくりに関して、医学と都市計画学の両側面からあるべき都市空間・社会制度のあり方を具体的に描きだし、それらを実現するための空間計画技術を構築するものである。

地域の医療福祉とコミュニティの相互補完的再構築のスキーム確立と理論化を行い、「医学を基礎とするまちづくり」を担う多主体協働の枠組み構築と、その政策的支援に向けた可能性・課題の検証を行う。

草津市と檀原市

奈良県橿原市の概要

- 人口：約124,111人(2015年)
※県内では奈良市に次いで多い

- 奈良県南部への玄関口であり
奈良県南部からの流入が多い

- 古代から現代まで、交通の要衝

下ツ道×横大路

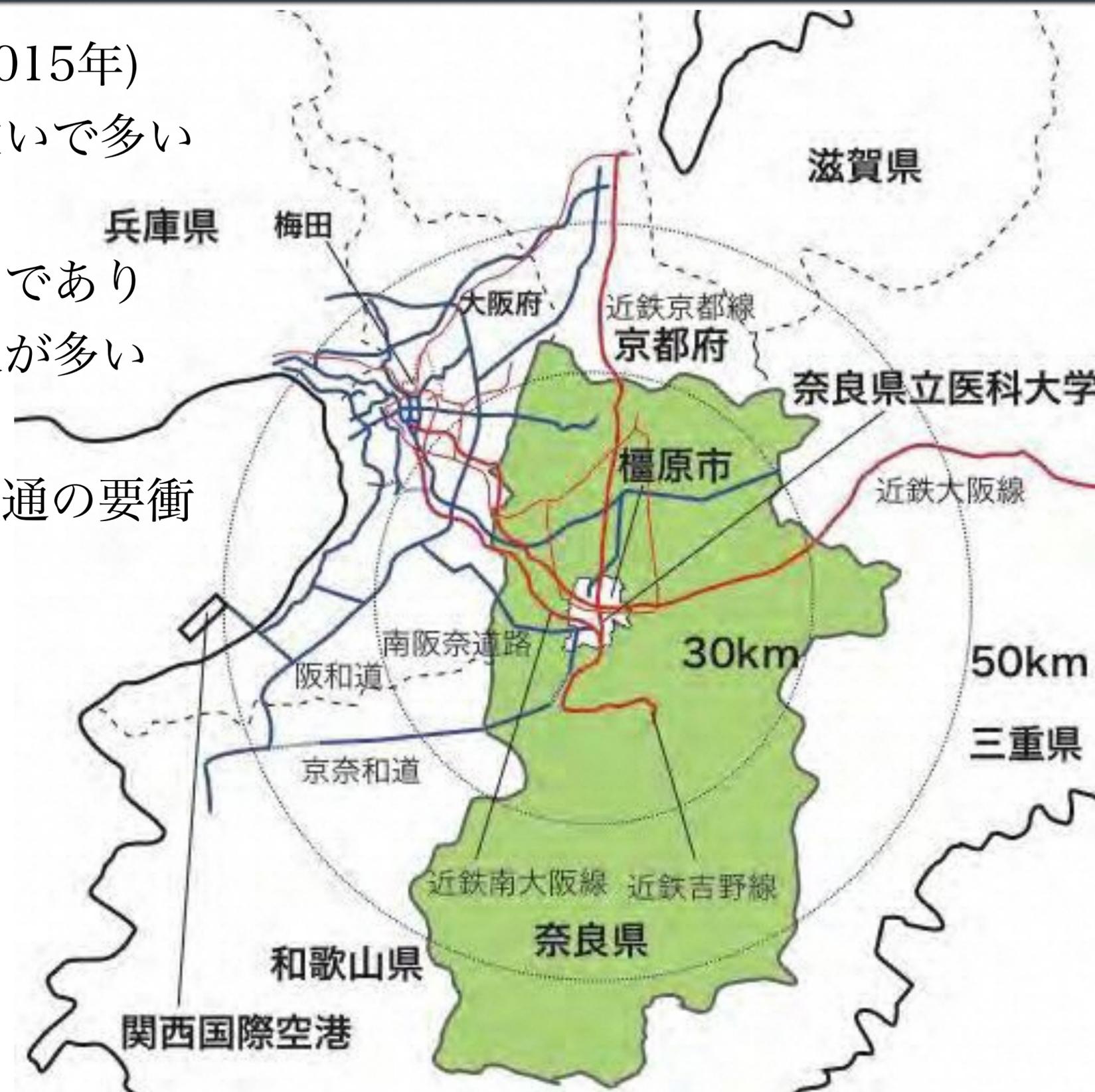
[八木札の辻]



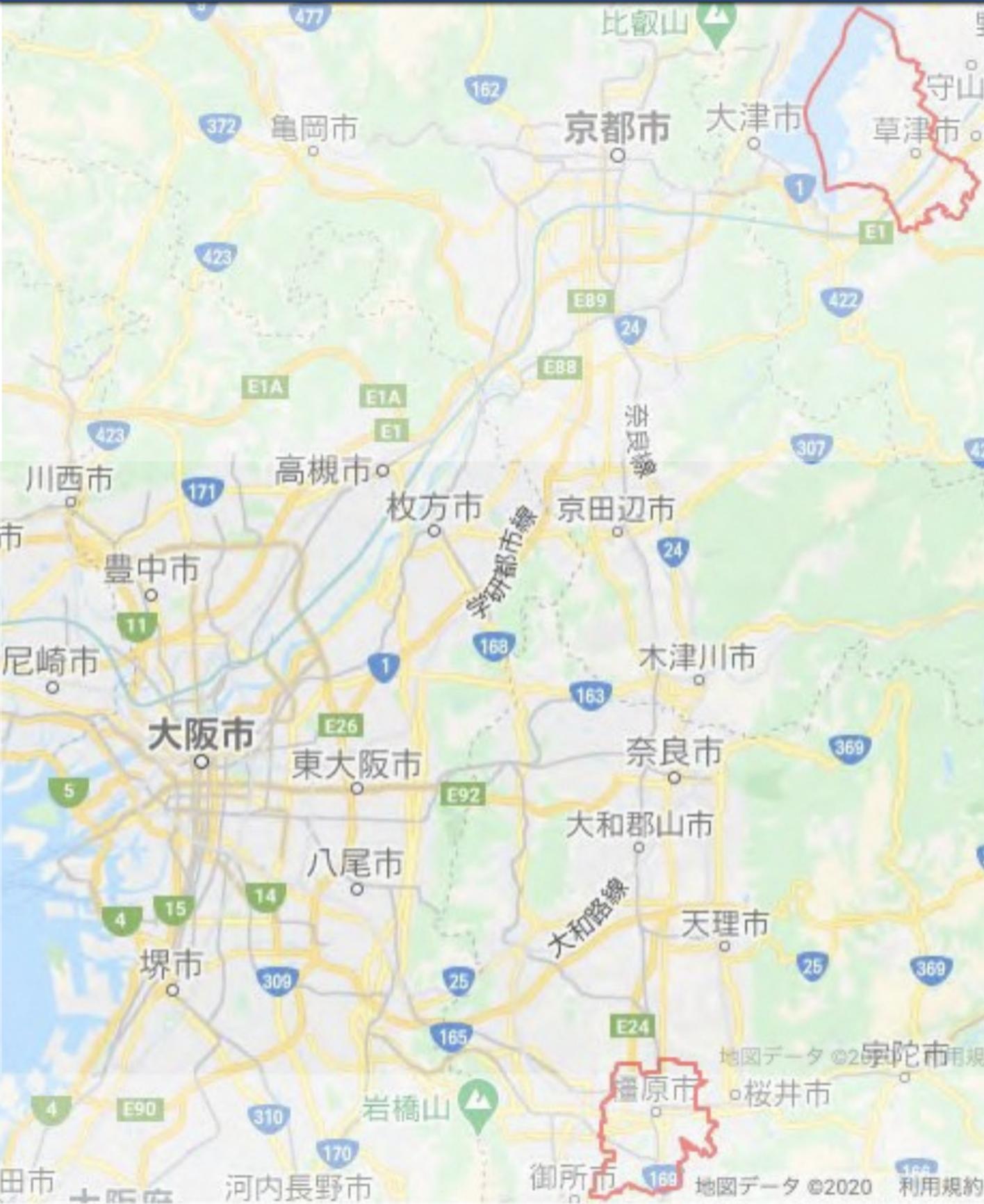
近鉄大阪線×橿原線

[大和八木駅]

京奈和道×南阪奈道路



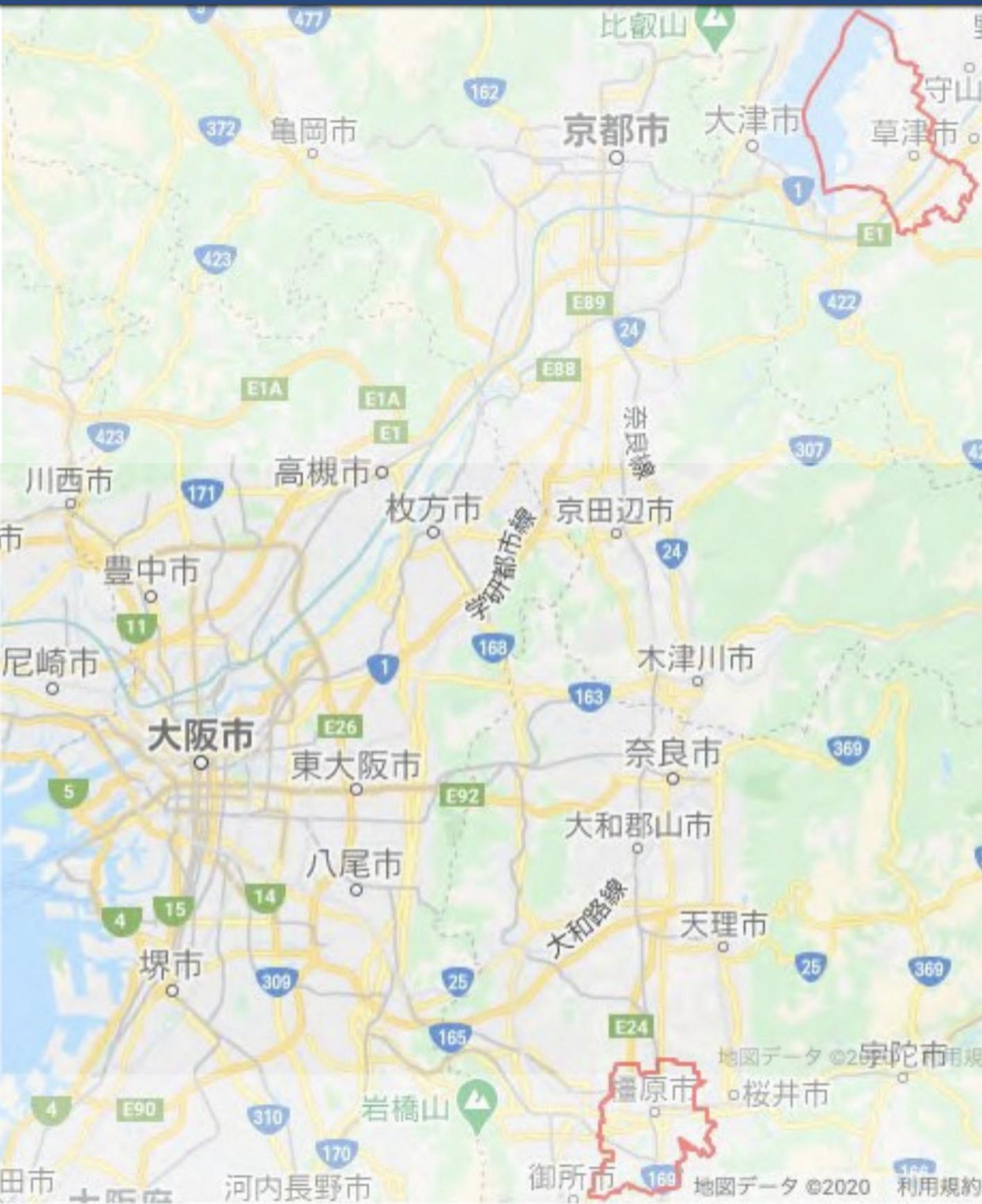
草津市と橿原市の医療・介護の現状



JMAPより抜粋
※は人口10万人あたり

| | 草津市 | 橿原市 |
|-------------|----------|----------|
| 人口(2015年) | 137,247人 | 124,111人 |
| 高齢化率(65歳以上) | 20.0% | 26.3% |
| 一般診療所数※ | 73.59 | 87.82 |
| 病院数※ | 4.37 | 7.25 |
| 薬局数※ | 40.07 | 49.15 |
| 介護施設数※ | 16.85 | 17.33 |
| 介護施設入所定員数※ | 90.10 | 72.53 |
| 介護職員数※ | 87.73 | 73.03 |

草津市と橿原市の企業・高等教育施設の現状



JMAPより抜粋
※は人口10万人あたり

草津市

橿原市

主な企業（本社）

パナソニック（アプライアンス社）、川重冷熱工業、
キャノンマシナリー

三和澱粉工業、タカトリ、
佐藤薬品工業

大学（市内）

立命館大学BKC

奈良県立医大、奈良芸短大

大学（周辺自治体）

滋賀医科大、龍谷大、滋賀大、京都橘大、滋賀県立大、滋賀短大

畿央大、奈良県立大理工学部（2026年までに開学）

UDC

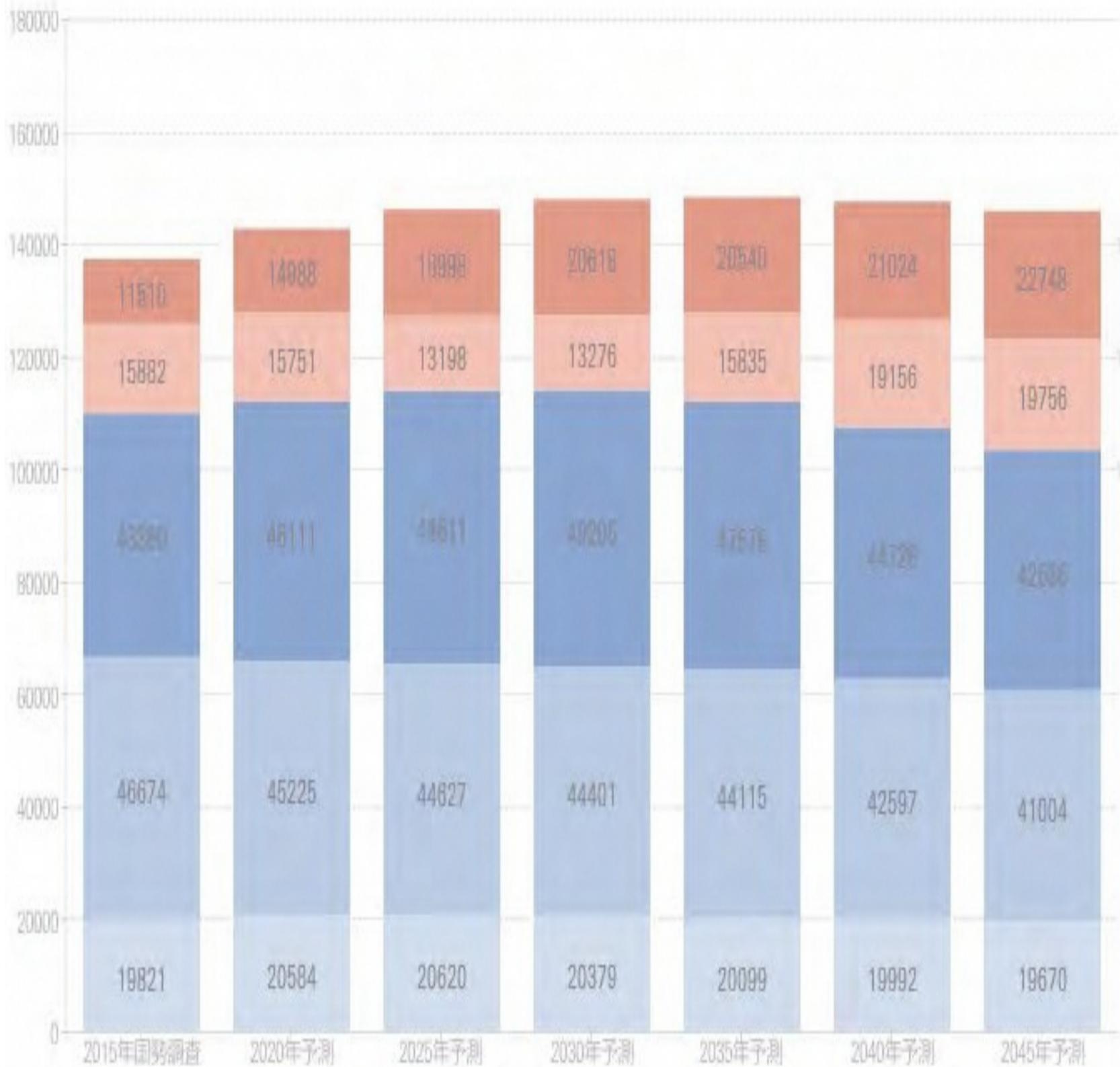
あり

なし

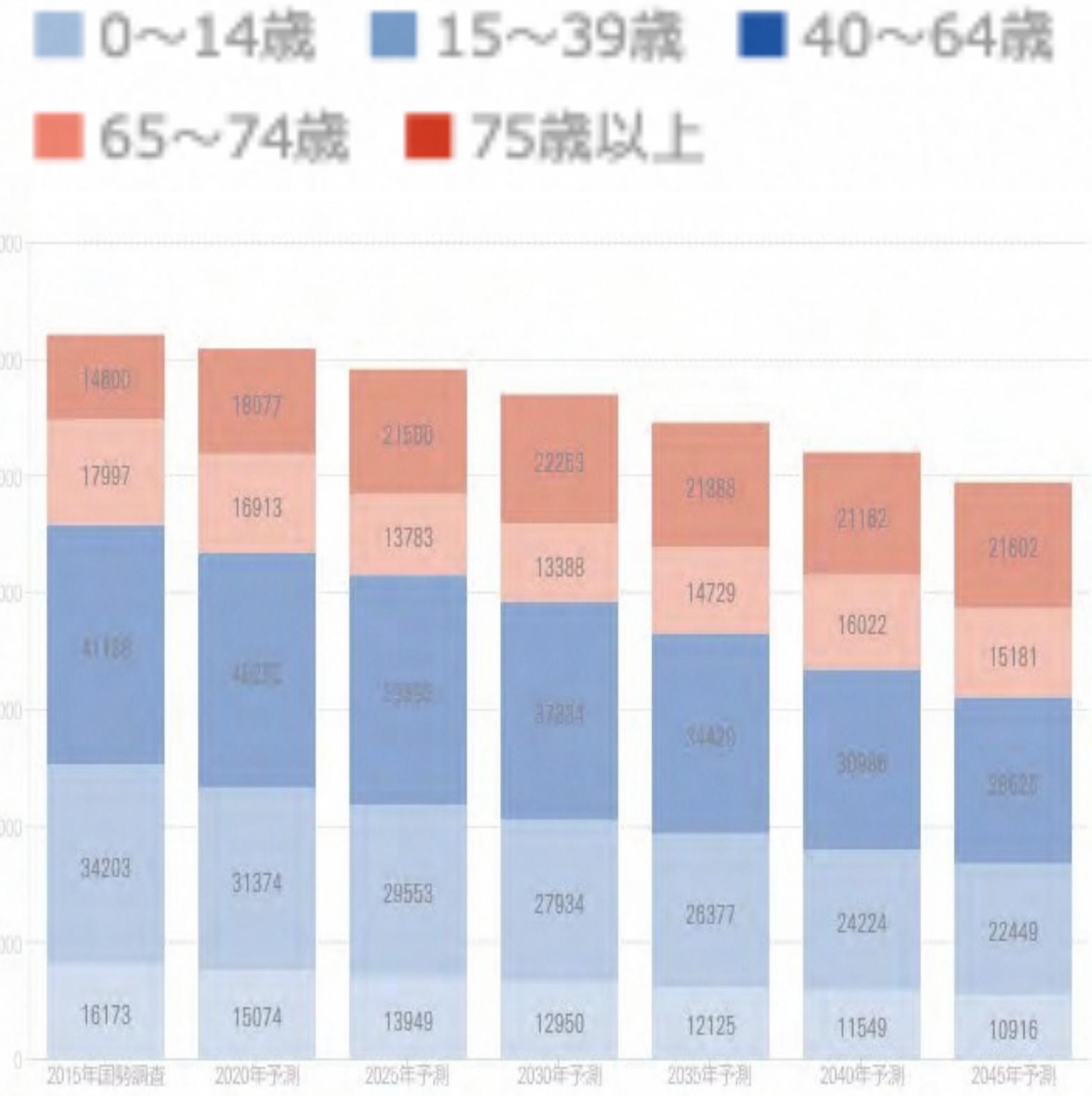
草津市と檀原市の将来人口推計

参照：JMAP

<http://jmap.jp/cities/detail/city/29205>



草津市

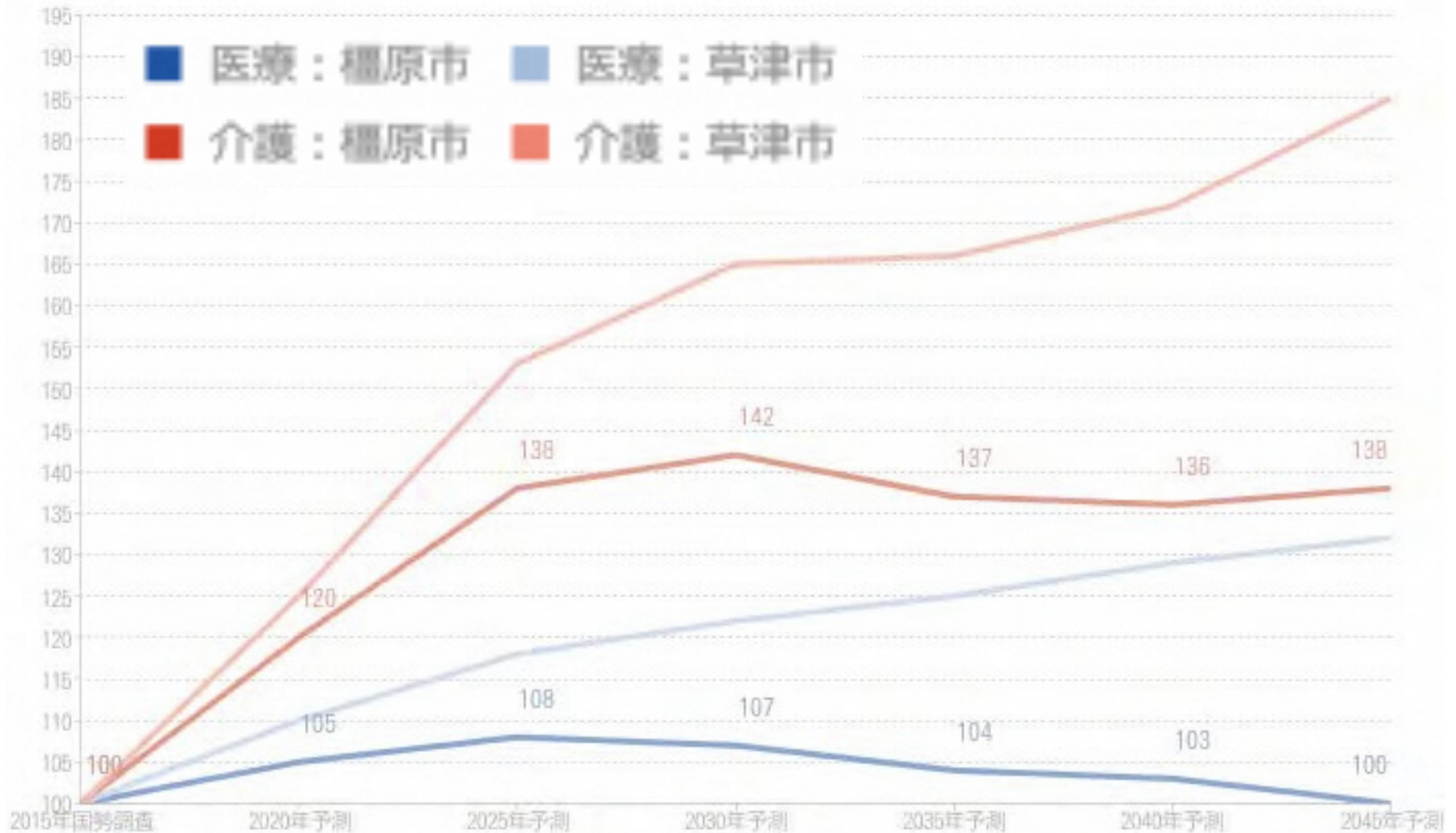


檀原市

草津市と檀原市の医療介護需要の予測指数

参照：JMAP

<http://jmap.jp/cities/detail/city/29205>



奈良県立医科大学とMBT構想

奈良県立医科大学の将来像

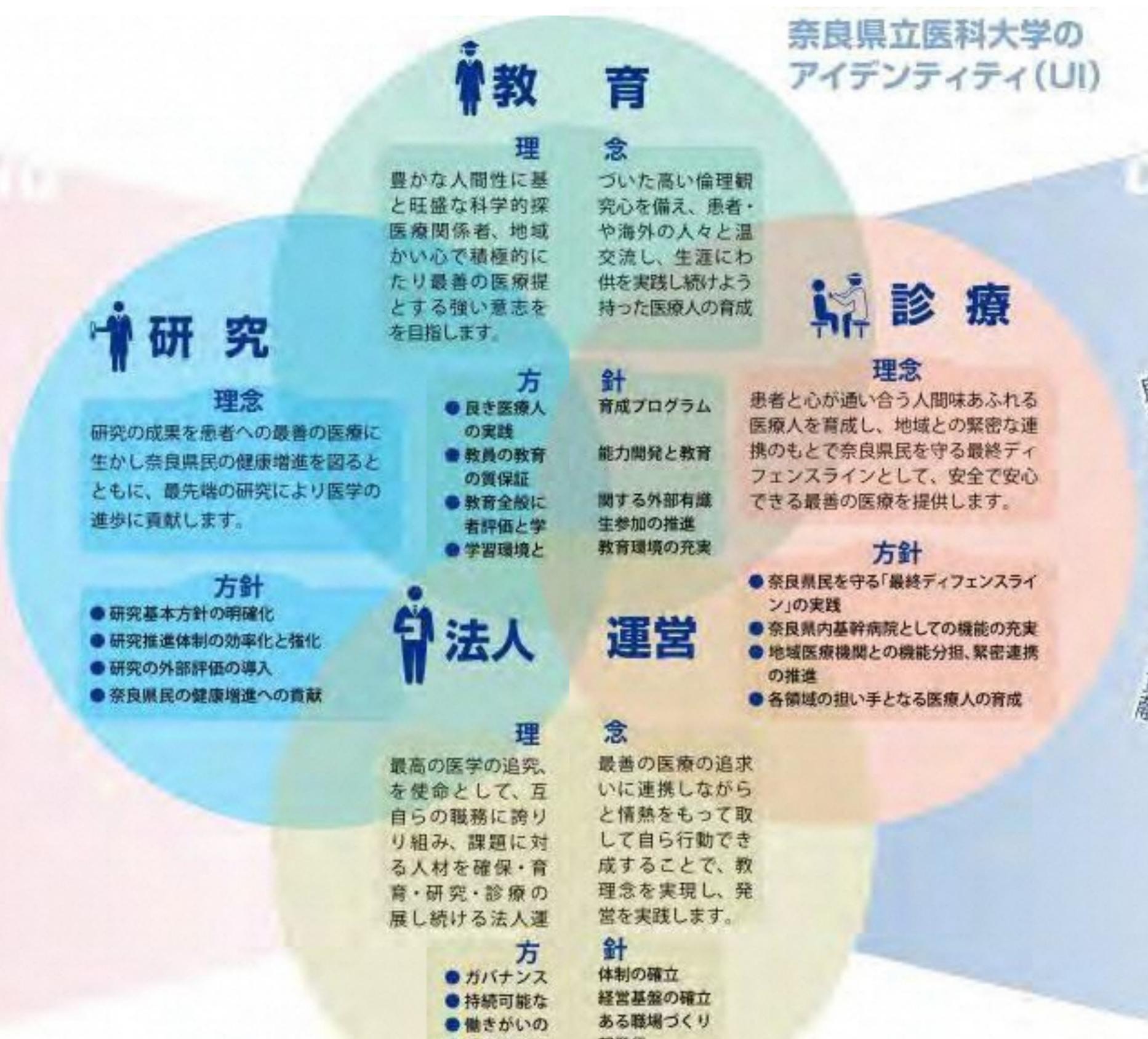
奈良県立医科大学の
アイデンティティ(UI)

大学を取り巻く環境の変化と課題の顕在化

BACKGROUND

OUTCOME

- 医学水準の高度化**
 - 優秀な人材確保
 - 臨床教育の充実
 - 卒後教育の強化
 - 教育研究環境の整備
 - キャリアパス構築
- 医療ニーズの変化**
 - 量から質への転換
 - 医療機関の機能分化
 - 診療報酬制度
 - 医療従事者確保
 - チーム医療体制
- 超高齢社会の進展**
 - 疾病構造の変化
 - QOLの重視
 - 地域包括ケア構築の必要
 - 予防・リハビリの重要性
 - 健康づくりへの貢献
- 地方創生の期待**
 - 研究成果の還元
 - 産業創成への貢献
 - まちづくりの核としての期待
 - 地域交流の拠点
 - 健康情報発信
- 大学の選別化**
 - 国の資源配分の差別化
 - 経営基盤強化の必要
 - 自助努力による財源確保の要請
 - 大学連携
 - 産学連携



教育

理念
豊かな人間性に基
と旺盛な科学的探
医療関係者、地域
かい心で積極的に
たり最善の医療提
とする強い意志を
を旨とします。

方針

- 良き医療人
の実践
- 教員の教育
の質保証
- 教育全般に
者評価と学
- 学習環境と

法人

理念
最高の医学の追究、
を使命として、互
自らの職務に誇り
り組み、課題に対
る人材を確保・育
育・研究・診療の
展し続ける法人運

方針

- ガバナンス
- 持続可能な
- 働きがいの
- 積極的な情

診療

理念
患者と心が通い合う人間味あふれる
医療人を育成し、地域との緊密な連
携のもとで奈良県民を守る最終ディ
フェンスラインとして、安全で安心
できる最善の医療を提供します。

方針

- 奈良県民を守る「最終ディフェンスライ
ン」の実践
- 奈良県内基幹病院としての機能の充実
- 地域医療機関との機能分担、緊密連携
の推進
- 各領域の担い手となる医療人の育成

運営

理念
最善の医療の追求
いに連携しながら
と情熱をもって取
して自ら行動でき
成することで、教
理念を実現し、発
営を实践します。

方針

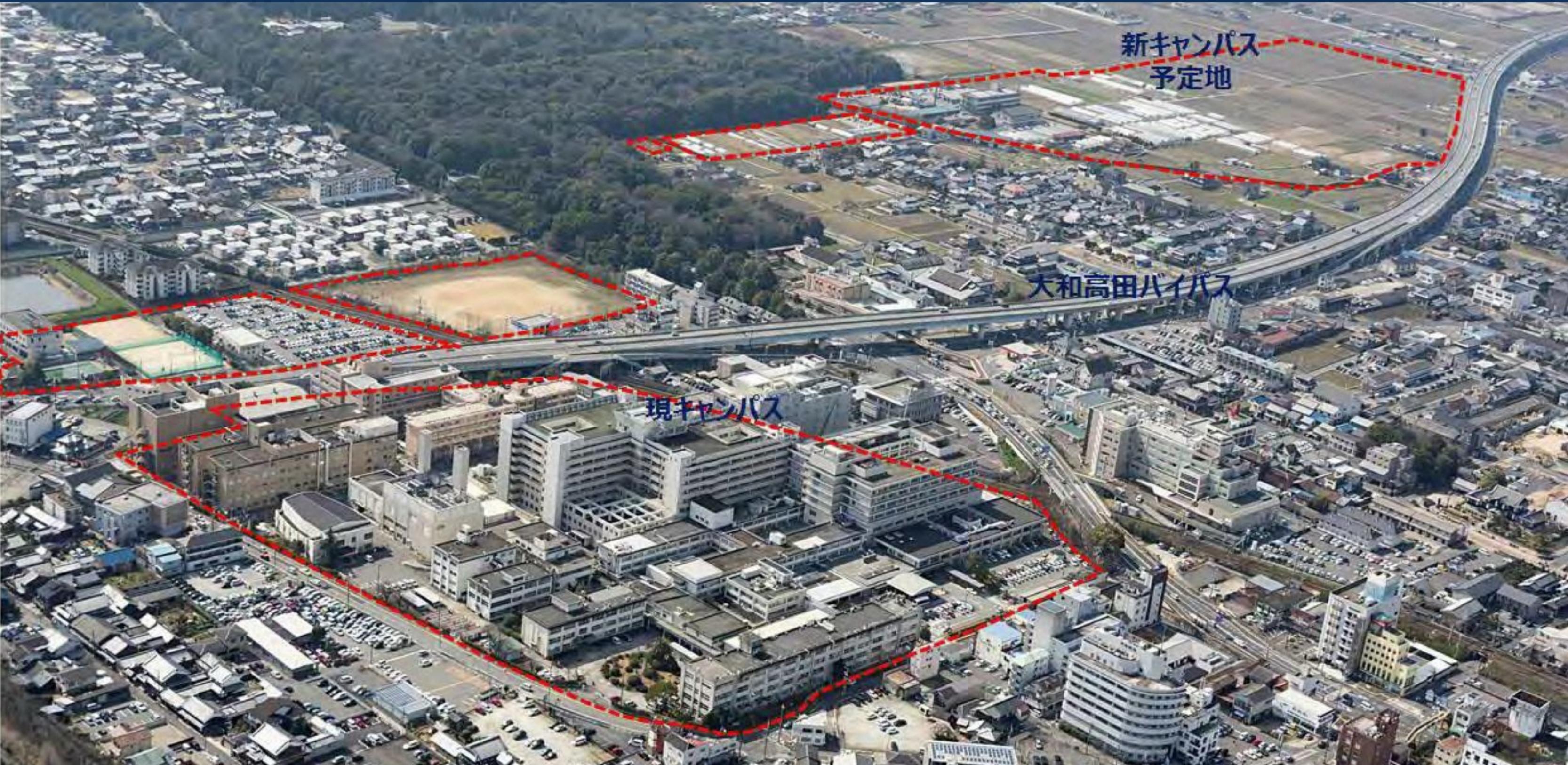
- 体制の確立
- 経営基盤の確立
- ある職場づくり
- 報発信

良き医療人の輩出による貢献

地域の安心と社会の発展に貢献

- 患者**
最高・最善の医療による安心の提供
- 県民**
健康社会実現の支援
- 高齢者**
地域包括ケアモデルの支援
- 県内医療人**
医療知識・スキルの向上
- 県内医療機関**
適切な役割分担と緊密連携
- 連携機関**
連携による資源の相互補完
- 企業**
医学を基礎とする産業の創成
- 地域社会**
MBT構想による安心のまちづくり
- 医学・医療界**
最先端医学・医療の発信

2024年 奈良医大 教育・研究部門が移転予定



2024年 奈良医大 神宮キャンパス 開校予定



奈良県立医科大学周辺におけるMBTの展開

重要伝統的建造物群保存地区・今井町

医大機能のインフィル

教育機能の移転

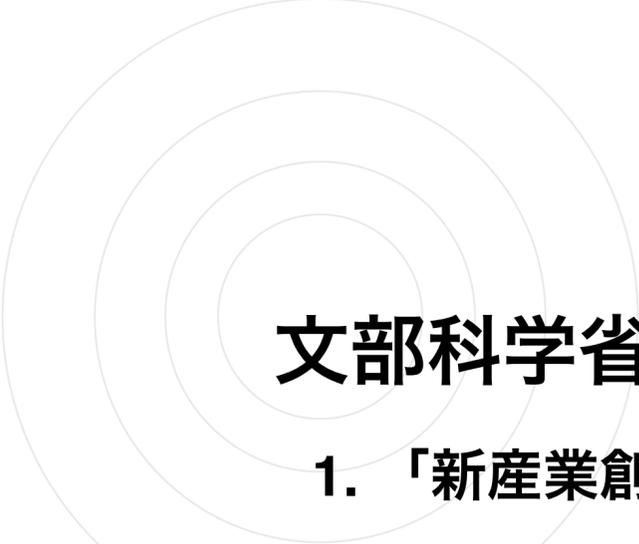
奈良医大新キャンパス

奈良医大・同附属病院

神武天皇陵

近鉄新駅





文部科学省が提唱する産学官連携の意義

1. 「新産業創出」

社会全体の「知」の源泉として重要な役割、すなわち大学等の独創的コンセプトから生じた技術シーズに基づく起業支援や新産業創出を行う。

2. 「社会貢献」

教育・研究に加えて大学の「第三の使命」として位置づけ、単なる経済活性化だけではなく、地域コミュニティや福祉・環境問題といったより広い意味での社会全体の発展への寄与と捉える。



MBT
Planning



本学中期計画におけるMBTの役割

I. 地域貢献<研究関連>

○市町村や県が実施する健康増進事業への協力・連携及び実践的研究を実施

○健康寿命延伸や医学を基礎とするまちづくり研究等を進展

II. 研究 <横連携・

他分野連携の推進>

○枠組みを超えて連携した研究を推進

(民間企業や他大学との共同研究の推進を図るとともに、横断的共同研究助成による支援を行う)



MBT研究所のとりくみ

1. MBE (Medicine-Based Engineering)

「医学を基礎
とする産業創出」

医学の力を使って産業Innovationを起こす。

→**産学連携**

2. MBT (Medicine-Based Town)

「医学を基礎と
するまちづくり」

医学の力を使って、まちづくりを通じ、社会に貢献する。

→**地域連携**





MBTコンソーシアムの事業委託

1. MBTの実施

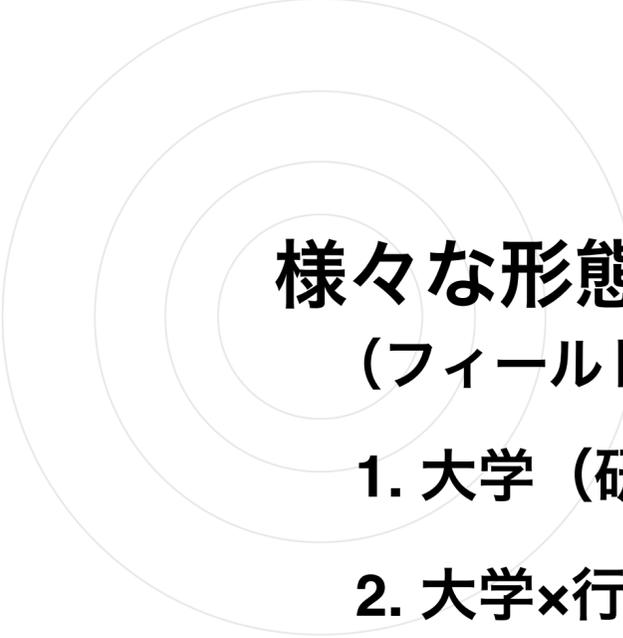
2. フィールドの提供

新キャンパス敷地内、現キャンパスの再開発地区内や、今井町(重要伝統的建造物群保存地区)をはじめとした近接地域を実証のフィールドとして提供する。

3. 新産業の創生

自由活発な企業活動を展開することで、産業に医学の叡智を注入しながら、異分野連携による新産業を創生する。





様々な形態の産学官民連携の取組と支援 (フィールドマッチング、行政からの相談対応窓口)

1. 大学（研究者・医師）×企業
2. 大学×行政
3. 大学×行政×企業
4. 研究者・医師×企業
5. 研究者・医師×地域住民×企業×行政
6. 大学×地域住民

